

夏号
NO. 3

夢花志(ゆめばなし)



発行：JCC広報委員会 電話：052-618-6606 FAX：052-618-6607
ホームページ：https://community-care.co.jp

理念
私たちは豊かな地域
共生社会の創造に貢献します。



JCC避難行動基準

さから被害は甚大となり、国難ともいえる事態が予想されています。そのため、国、地方自治、企業等大規模災害への備えや対策を講じ、地域ぐるみの取組を推進しています。その中で私たちも、常日

逃げる勇気

頃から避難訓練等を通じ防災への取組を実践しています。しかしながら、『いざ』と言ったときに、どれくらいスタッフか、訓練通りに避難できるのか。また、復旧にどれだけの時間がかかるのか、その地震などの規模によって想定は困難といえます。私たちは、訓練の基本として、どこに避難するかを、繰り返し行っています。また、避難警戒レ



秋の避難訓練11月14日
(利用者様スタッフ)

ベルを決め、二十四時間、緊急時の連絡が取れる等日頃からミーティング等『いざ』と言ったときに、どれくらいスタッフか、訓練通りに避難できるのか。また、復旧にどれだけの時間がかかるのか、その地震などの規模によって想定は困難といえます。私たちは、訓練の基本として、どこに避難するかを、繰り返し行っています。また、避難警戒レ

日頃から地域と顔の見える連携

を通じて意識づけを行っています。また、各事業所では、事業継続計画を策定し大規模災害への取組を行っています。いざ、日頃から顔の見える連携を行う事が、最大の備えであると考えています。非常時には、互いに助け合い、支え合うこと。誰かのために事を成すことが、私たち福祉事業に携わる者の最大の生業です(写真真は登山が趣味のスタッフさんの撮影です)

事業継続計画(BCP)の策定

大規模災害等への備え及び心構えへの取組

南海トラフ地震が起きたらどうする。 私たちが取るべき防災対策

地震大国である日本で、近い将来に高い可能性で起きるといわれている。その影響の想定範囲の広がりが南海トラフ地震です。もし現代で発生した場合、

ワーク・ライフインテグレーション

自らの人生観を軸に、ワーク（職業生活）とライフ（個人生活）を柔軟、かつ高い次元で統合し、双方の充実を求めること。それによって、生産性や成長拡大を実現するとともに生活の質を高め、充実感と幸福感を得るなどの相乗効果を目指す働き方をいいます。私たちJCCグループでは、『日々を楽しく暮らす』という考えのもと、仕事も暮らしの1ページととらえ、

限られた人生を共に過ごす時間を大切に、職業生活と個人生活の相乗効果を得るように、ワーク・ライフ・インテグレーションを推進してまいります。

